

その他の発展型

☆☆ 発展形 NO.19 – フェリス・ホイール

男女が両手をつないだまま、回転します。

踊り方: 【ダブル・ホールド】のウインドミルの後に続けます



- ① 男性は【左右】を真横から振り上げながら左足を外に向けて

横に小さくステップ(S)。顔は振り上げた手を見ていきます。

- ② 【左右】の後を追いかけるように【右左】を振りつつ、右足を左足横に

ステップ(S)。

- ③ 右足の上でグルリと左回転し、再び女性と正対します(S)。

続け方: すかさずハンマーロックに入る踊り方が一般的に多くみられます。

QQと踏んで、通常のウインドミルへ入る事もできます。

《注意》 腕や肩を柔らかく使わないと怪我をする恐れがあります。リードする男性は力いっぱいで踊らないで下さい。また、途中で腕や肩が引っかかった場合、踊りとおさないで中断します。



☆☆☆ 発展形 NO.20 – アーム・ブレイカー

ジャイヴから転用された踊りで、パーティでも多く見られます。



踊り方: 【左右】のオープン・ブレイクから入ります。

- ① 1歩目(S): 男性はリンクに入る要領で女性を引き寄せながら左足前進。女性は右足前進。このとき男性は少し低めに入り、体を右へさばきながら、今、左手で持っている女性の右手を女性の背中越しに右手に持ち替えようとしています。女性は右腕の力を抜いて男性のリードに対応します。左手は上げておきましょう。

- ② 2歩目(S): 男性は右回転の継続から【右右】になり、その手を引いて、女性を自分の前を通過させます。この時の右足は左足後ろにクロスします。直後に【右右】を斜め上に上げていき、女性の次の回転に入る用意をします。この間、女性は右回転の中で左足を右足そばにステップしながら、僅かに場所が移動。

- ③ 3~4歩目(QQ): 【右右】で女性を更に左へ 1回転。女性は(00)と足の踏み替えをします。男性は踏み替えをしても、踏み替えしないで右足の上で女性の回転に集中していてもOK。
- ④ 5~6歩目(QQ): 男女ともオープン・ブレイクします。



☆☆ 発展形 NO.21 - ローリング・オフ・ディ・アーム

これもポピュラーな技(?)です。ジャイヴのフィガーを応用したものです。



踊り方: 【右右】のオープン・ブレイクから入ります。

- ① 1 歩目(S): 男性は【右右】を引き、右斜め上に上げて行き、女性の右足の上で左回転させます。体を少し右にさばきます。
- ② 2 歩目(S): 女性の左回転がぶれないように気遣いながら、その手を左に一回りさせて下ろしてくると、女性の背中が自分の方に向いてきます。この間、女性は回転につれて左足に体重を移動します。
- ③ 3 歩目(S): 【右右】を女性の腰の高さにおろしながら、右斜め前に少し出すと、女性の背中側の左肩が近づいてくるので、左手でストップをかけます。この間、女性は右足に移動で、右腕が背中でねじれた形になっています。
- ④ 4~6歩目(QQS): 男性は左手で女性の左肩を押すと同時に【右右】を引き戻し、女性に右回転のリードをします。女性は左足、右足、左足と体重を移しながら右回転。この間、男性はその場で足の踏み替え。
- ⑤ 7~8 歩目(QQ): オープン・ブレイクをして、次のフィガーに入ります。

《注》 男性は踊りの流れの中で女性の腕がスムースに動く事に専念しましょう。 痛い思いをするのは女性ですからね。

☆☆ 発展形 NO.22 – アーム・プッシュ・ спин



比較的やさしく、かつ、見栄えのする踊りです。使ってみてください。

踊り方: 【左右】のオープン・ブレイクから入ります。男性と女性のカウント、及び歩数が異なります。

- ① ♣左足に乗ると同時に、自分の胸元前に引き寄せてきた女性の右手首付近に右手のひらをあてます(S)。 ♥右足前進(S)。
- ② ♣右足を小さく前にだし、右手で女性の右手を右斜め前に、円を描くように押し出して離し、同時に左回転します(S)。 ♥前進した左足の上、続いて右足で右回転(00)し、ほぼ1回転します。
- ③ ♣左回転してから左足に体重を移し、すれ違った女性のほうを向きます(S)。 ♥左足で回転を継続し、男性のほうをむいて回転を終わります(S)。
- ④ ♣♥男女向かい合い、再びオープン・ブレイク。



(写真は左 → 右)

1~3歩目半ばまでの動き

☆☆☆ 発展形 NO.23 – メビウスの輪

お友達に教えてもらった技ですが、名前が判らなかったので私が勝手につけ、簡単にメビウスと呼んでいます。仲間の間では踊りのイメージにピッタリと好評ですが、正式名称をご存知の方がいましたら、お便りください。本当の「メビウスの輪」は19世紀にドイツの数学者メビウスが発見した表裏区別のない不思議な立体で、細長い紙の両端をひとつねりしてくっつけると出来上がります。不思議なのは、片面を指でなぞっていくと、指を離すことなく「裏」とと思っていた面もなぞって再びスタートしたところに戻ってきます。さて、そのメビウスの輪を連想していただけるでしょうか、踊りに入っていきましょう。



●入り方: 【左右】のオープン・ブレイク ●終わり方: 【ダンス・ホールド】

ステップ	カウント	踊り方
1	S/1~2	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 身体を右にさばきながら、右手は背後にまわしつつ【左右】を上げ、左足を横にステップ。女性を左腕下をくぐらせると同時に、用意していた右手を右腰後ろ側の所へ手のひらを上にして出します。 ♥ 初めての女性は「何したらしいいの！」と叫びたくなりますが、素直に男性の背中側に右足前進し、男性の右手に左手を乗せます。 ♣ ♥ 男女背中あわせになろうとし、両肩の力を抜き両手は腰のあたりまで下げていきます。
男性 2~3 女性2	QQ/3~4 S/3~4	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 右足を左足近くに寄せるか、または、後ろにクロスするようにステップしながら、女性に振りりつつ右肘を上げ女性の頭を通します。その後【右左】を女性の首の辺りまで下ろします。 ♥ 前横に出した左足に体重を移し、男性に上げられた自分の左手に頭を通しながら、少し右回転をします。 ♣ ♥ 【左右】は男性の背面右腰辺りにあります。
男性 4~5 女性 3~5	男性 SS/5~8 女性 QQS/ 5~8	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 【右左】のつないでいる手の輪に、右手のひらを上にして、内側から自分の頭を通しながら、体の下にステップした右足の上で左回転(S)、女性の方を振り返ります。続いて、左足に体重を移しながら【右左】を離し、【左右】を右上にあげ、女性に左回転をさせ始めます。このステップの終りでは、女性がほぼ1回転しています。 ♥ 男性と右肩越しに背中あわせの形で、右足を小さく後退(Q)。次に左足に体重を戻し(Q)、【右左】を離し、さらに右足前進しながら【左右】が上がって左回転を始め、男性のほうを振り向きます(S)。ほぼ、1回転しています。
6~7	QQ/ 9~10	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 女性を更に左へ1回転させます。この間女性の移動に合わせて右足、左足とステップ。 ♥ 【左右】のリードに従い、右足、左足と踏みながら、左に更に1回転します。回転は自分の左方向へ移動しながら行ないます。
8~10	SQQ/ 11~14	<ul style="list-style-type: none"> ♣ ♥ 【左右】を腰の高さに下げて回転を止め、男性は右足、女性は左足に体重を乗せて向かい合い(S)、続いてオープン・ブレイク(QQ)して終わります。

【後に続く主なフィギュア】 リンク、アメリカン・スピノ、ジルバ・ウォークなど。

ここに 気をつけましょう

♣ 1歩目で男性は右手を背中越しに出しますが、初めての女性だとそんな所から手が出てくると思っていないので、気づいてくれない事があります。女性に右手がよく見えるよう工夫しましょう。私は指をパタパタさせて注意を向けさせたりします。相手の女性のみならず周りの人の笑いも誘い、楽しい雰囲気になりますので試してみてください。また、右手を背中に回そうとすると自動的に背中を丸めてしまいたくなりますが、背中は伸ばしている方が踊りやすいです。肩に力が入らないようにすると腕が突っ張らなくていいですよ。

- ♣ 2~4歩にかけては右手のひらで右側から∞(無限のマーク)を描く様に、女性の頭、自分の頭を通すようにしましょう。
- ♥ 1歩目で男性の右手を見落とす女性は、その前のオープン・ブレイクで男性から目を離しているのが原因です。人とお話をするとときと同じように相手を見て、よそ見しないで踊りましょう(これは男性にも言えることですが)。また、男性の右手を下から取ると、全く踊れなくなってしまいますので気をつけて下さい。男性の手のひらが上を向いている時は、女性は手のひらを上から合わせるように置きます。ダンスの捷ですよ。
- ♥ ♣ 1歩目の後半で男女背中あわせになるまでに、肘や肩が引っかかりそうになる時があります。どこかで誰かの力が入っているのが原因ですが、そうなった時はすぐに中止し、怪我をしないようにしてください。
- ♥ ♣ 2歩目で男性は【右左】を女性の首のあたりまで下ろすように書きましたが、そんなにしなくとも踊りに全然影響ありません(！？)。でも、そうすると、踊りがはた目に、より複雑に映るのです！ こうした遊び心も踊りを楽しくさせてくれます。
- ♥ ♣ 慣れてきたら、2歩目以降の足はそれほど気にせず、全体の流れを楽しみましょう。

